

令和8年度 8月 明和営農センターだより



平素は、農協事業に格別なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

7月は非常に高温な日が多く、農作物の管理作業で大変ご苦勞されたと思います。

早いもので、4月～5月にかけて田植えしていただきました稲が間もなく収穫時期を迎えようとしています。まだまだ猛暑日は継続すると予測されますので、体調の方には十分注意していただき、作業を実施して下さい。

お米のJA出荷にご協力下さい！

お知らせ

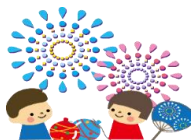


○令和8年産米の集荷について

いよいよ皆様が丹精込めて栽培いただいた令和8年産米の収穫時期となりました。

1袋でも多くJAに出荷いただきますよう、宜しく願い申し上げます。また、出荷の際には栽培履歴の提出もお願い致します。

尚、集荷日程・概算金等は、出荷契約者の皆様に直接配布させていただきますので、ご確認いただきますよう、宜しく願い致します。



○住宅の修繕・リフォーム

JAでは、住宅の修繕・リフォームも実施しておりますので、何かございましたらお気軽にお声かけいただきますよう、宜しく願い致します。



○床下無料点検実施中

暑い時期は、白蟻の繁殖時期となっています。羽アリを見かけましたら危険信号となります。

JAでは、無料で床下調査を実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。



明和営農センター → ☎0596-52-3047

○明和営農センターの営業時間について

・農繁期対応について

8月22日（土）～9月13日（日）までは農繁期対応で土日は8時45分～12時まで営業を致します。

※お間違えの無いように宜しくお願い致します。

裏面には、営農指導員だよりを掲載しておりますので、ご覧下さい。



営農指導員たより



8月

今月は、稲刈り、秋冬野菜の播種等の時期になってきます。日差しの強い炎天下での作業は体調管理に十分気を配り、無理の無いよう作業に努めてください。

水稻



今年の生育は、4月の定植以降から5月にかけて比較的気温が高く推移したため、生育は順調に推移しました。6月は定期的な降雨があり、気温もやや下がったため、いもち病の感染に適した環境・気温が揃い、葉いもちの発生が多くみられました。その後早い所で7月中旬に穂ぞろい期を迎えています。全体的に見ると、生育は平年よりやや早く推移し、8月中旬に成熟期を迎えると予想されます。今後の水管理は、間断灌水を基本とし、出来るだけ新鮮な水の供給を心がけましょう。収穫前の落水は、土壌条件にもよりますが、出来るだけ遅らせ登熟障害を受けないように気をつけてください。落水が早いと未熟粒・胴割粒の発生を助長します。湿田を除き一般水田では、収穫7日前が落水時期の目安です。落水後も田面が乾くようなら走水をおこない登熟を促しましょう。

収穫時期の目安 コシヒカリの場合、4月下旬田植えで出穂期後33～35日で、穂の基部に緑色もみが2～3粒程度のころ頃が、収穫適期です。

収穫・乾燥調整の留意点

胴割米防止 ⇒ 早期落水・刈り遅れ・高温急速乾燥は厳禁！

やけ米防止 ⇒ 収穫後4時間以内に乾燥機へ投入！！

適正水分 ⇒ 乾燥調整は14.5%！！

早刈り厳禁 ⇒ 青米・小米が多くなり等級の低下・収量が減少します！！！！



台風対策(露地野菜編)



これからの時期は台風が襲来しやすくなります。事前に下記の対策をしておくことで被害を軽減できますので、参考にしてください。

- ・冠水や浸水の恐れがある圃場は、排水溝の雑草や土砂等を取除き水落部分を作っておく。
- ・播種直後のものやキャベツ等の苗床は、寒冷紗をベタがけして風で飛ばないように固定する。
- ・幼苗期のものは、土寄せ・土入れを行い株の揺れを防ぐ。
- ・果菜類は、支柱の補強を行い収穫が済んだ側枝や不要な枝や蔓を取除く。または、畝の上に倒し防風網や寒冷紗等で押さえ台風通過後に元に戻す。

☆ **台風通過後は**、速やかに圃場排水を行い、ベタがけ資材等を除去し付着した泥等は洗い流し薬剤防除をする。

☆ レンコン栽培をはじめませんか？



管内でレンコン栽培を始めていただける方を募集中です。レンコンをイメージすると泥田の中で収穫する「水堀り」を思い浮かべる方が多いと思いますが、水持ちの良い圃場であればその他の作型で栽培が可能です！

肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは

明和営農センター 52-3047 または 各営農指導員へご相談ください。

